

京田辺市議会だより

9月定例会

自校式給食を堅持
学校給食調理業務を民間委託へ

2面に掲載

★おいしい給食 みんなで食べよう★
(普賢寺小学校の給食)



人事案1件
全員賛成同意

初日には市長から、民生委員・児童委員を2年以上努められている青木三三代（あおきふみよ）氏（70）＝大住ヶ丘五丁目＝を自治功労者に推薦する同意案が提案され、賛成全員で同意しました。

市長提出議案
3件すべて可決

初日に市長から、地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、本市税条例等についても所要の改正を行うものとして「税条例等の一部改正について」など議案3件が提案され、それぞれ所管する常任委員会に付託しました。

また、住民票・所得税証明書等コンビニ交付システム導入事業に係る委託費や、学校給食調理業務委託事業費、生垣設置奨励補助金などを含む「平成30年度一般会計補正予算（第1号）」及び「平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」の2件は、賛成多数で原案のとおり可決しました。

また、補正予算案2件の採決では、平成30年度

議員提出の意見書2件を採決
可決・否決それぞれ1件ずつ

最終日に、議員からの意見書2件が提案され、それぞれ採決されました。「高齢者が安心して暮らせる介護保険の実現に向けての意見書」は、賛成少数により否決され、

「主要農作物種子法復活に関する意見書」は、賛成多数で原案のとおり可決しました。
※可決された意見書は7面に掲載

日	程	会議等	掲載面
9月3日	本会（開会・議案上程等）		1面
9月6日	本会（一般質問）		3～6面
9月7日	13名		
9月10日	建設経済常任委員会		
9月13日	総務常任委員会		2面
9月18日	文教福祉常任委員会		
9月19日	本会（採決・閉会）		1・7・8面
9月28日			

1号」の2件の補正予算案が提案され、所管する常任委員会で審査のみを行うこととなりました。最終日には、各常任委員会に付託した議案3件について、各委員長が審査報告を行いました。採決の結果、議案第43号「財産取得について」は賛成全員で、議案第41号「税条例等の一部改正について」及び、議案第42号「家庭保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」の2件は、賛成多数で原案のとおり可決しました。

13議員が
一般質問

2日目に5人、3日目に4人、4日目に4人の計13人の議員が登壇し、災害対策や観光施策、子育て支援や高齢者福祉などの福祉施策、また総合計画などのまちづくり施策を含め、諸問題にいたるまで多岐にわたって一般質問を行いました。（3～6面に掲載）

最終日には、市長から平成29年度の決算認定案9件が提案され、「各避難所の運営状況について」「市政協力員制度の継続及び報酬について」「児童館のエアコン整備について」「保育所職員の処遇について」などの質疑がなされた後、決算特別委員会を設置の上、付託して閉会中の継続審査としました。
※決算特別委員会設置に関する詳細は6面に掲載

決算認定案9件
特別委員会を設置

第163号

2018年（平成30年）11月1日
発行 京田辺市議会
編集 広報編集特別委員会
〒610-0393
京田辺市田辺80番地
TEL 0774-64-1380
FAX 0774-63-4782
メール gikai@city.kyotanabe.lg.jp

京田辺市議会

検索

常任委員会の審査報告

市議会は、9月13日に建設経済常任委員会、18日に総務常任委員会、そして19日に文教福祉常任委員会を開会し、定例会初日に付託された議案3件について、審査を行いました。
また、補正予算案2件について、各所管部分の審査を行いました。

議案審査

ピックアップ①

消防北部分署の消防ポンプ車を更新



対象となる北部分署の消防ポンプ車

【賛成全員：可決】

あらゆる災害事案に対して機動力を発揮し、消防活動を迅速かつ的確に行えるよう、最新鋭の装備を施した消防ポンプ車を取得するため提案するもの。

● 既設車両の更新となるのか。新設配備の車両となるのか。

【北部分署長】 更新車両と考えている。旧車両は予備車として。

用道路があるので、救助隊が到着するまでの時間差を少しでも解消し、少ない水量で消火する装置や簡易ではあるが救助できる機材を装備した。

その他の議案

● 税条例等の一部改正

【賛成多数：可決】

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、本市条例等について、所要の改正を行うもの。主な内容としては、個人市民税に係る給与所得控除等から基礎控除への振替の見直し等を行うもの。また、たばこ税について、税率の引き上げや加熱式たばこの課税方式の見直しを行うもの。

● 所得控除を一律10万円引き下げ、基礎控除を10万円引き上げるが、10万円の根拠は、また、他の制度への影響は、どのようなことが考えられるのか。

【税務課長】

国の考えでは、働き方改革を後押しする。給与所得者の控除額が他の先進国と比較し、高いことがあげられる。ただ、影響が出ないよう基礎控除で相殺するよう

【北部分署長】 当該車両の代表的な機能や装備は、圧縮泡消火装置（キャブス装置）、送排風機、オゾン水生成機及び電動油圧式救助器具である。

● 更新車両において新機能を装備した理由は、

【北部分署長】 車両を配備する北部管内は、住宅開発に伴う高層マンションや自動車専

く」と説明があった。

● 2500万円を超える収入のある人は、基礎控除や給与控除もなくなる。控除は人間が生活するために必要である経費であるため、それは増税になるのでは。

【税務課長】

従来から2500万円超の収入のある人の税負担について国で議論されてきた。国際的にも所得に対して基礎控除の上限がないことは疑問視されてきた。800万円超の収入のある人について、結果的に増税になるが、パートの税基準も引き上げられたことも考慮した税制改正であると認識している。

● 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【賛成多数：可決】

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、当該基準に従い定める本市の条例について、所要の改正を行うもの。

● 本市は、家庭的保育事業等を現在実施していないが、なだちに改正を行う理由は、

【子育て支援課長】

事業実施はしていないが、省令の改正に添って環境を整えるもの。

● 本改正案は、規制緩和の内容だが、それより保育士の確保に努めていく方が、大事ではないか。

【子育て支援課長】

保育所はマンパワーで成り立っている施設なので、今後も確保に努めていく姿勢に変わりはない。

● 人口が減少していくなかで、財政面からみて小規模保育は、どのようにしていくのか。

くのか。

【子育て支援課長】 すべての子どもたちに等しく保育や教育を提供していくうえで、質の問題も踏まえ、現在のところ、市としては0〜5歳児までを一貫して保育ができる

とを基本に考えている。小規模保育については、希望事業者が現れた場合の準備をしていくが、積極的に進めて行くことは、今のところ考えていない。

補正予算から見る主な事業

★一般会計補正額 3億5620万円

（総務費）

○住民票・所得証明書等コンビニ交付システム導入事業 952万円

（民生費）

○認知症寄り添い支援強化事業（認知症リンクワーカー事業） 50万円

（農林水産業費）

○生垣設置等補助事業（ブロック塀撤去） 450万円

（土木費）

○田辺公園拡張整備事業 1500万円

（教育費）

○新入学児童生徒学用品費就学援助事業 799万円
○大住土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財試掘調査事業 247万円

★国民健康保険特別会計

補正額 1億6336万円

補正予算



★田辺公園拡張整備事業

● 既存建物の解体費用について府との売買契約で相殺されるとなっているが、実際の金額はいくらであったのか。

【緑のまちづくり室長】

府の提示金額は約1億2700万円、そこから約5100万円の撤去費用を差し引き、約7500万円で購入している。

● 今後のスケジュールは、

【緑のまちづくり室長】

平成30年度は、敷地内北側の既存建物撤去、31年度は残りの既存建物撤去、埋蔵文化財の試掘、並びに整備に向けた設計、32年度は埋蔵文化財の本調査を行い、その後、整備にかか

る予定である。

★国民健康保険特別会計

● 約1億2000万円の余剰収支だが、どのような費用か。どう分析しているのか。

【国民健康課長】

薬価の引き下げがおこなわれたこと、高額な医療費の支出がなかったことが大きな理由。平成30年度から財政の仕組みが変わったため、今後はこれほど余剰はない。これまでは、市町村単位で精算を行っていたが、

今後は国と府での精算となる。

● 毎年分析を行わなければ、本市の努力が他市に回るのは、

【国民健康課長】

激変緩和が明確になった時点で本市として試算していきたい。

★家族介護支援対策事業費

● 認知症リンクワーカーと認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員との関係性・連携方法は、

【高齢介護課長】

認知症初期集中支援チームは地域包括支援センターから相談を受けて、医療機関の受療支援や生活環境の改善支援を行う。介護保険サービスを受けるまでの間、初期集中支援チームとリンクワーカーからそれぞれ6カ月間、計1年間支援が受けられるようになる。

● リンクワーカーは田辺中央病院に配置されるが、地域包括支援センターに配置した方が連携しやすいのでは。

【高齢介護課長】 地域包括支援センターでも、いろいろな

事業を実施しており、医療機関に委託している。

学校給食民間委託経費削減かつ自校式

★学校給食調理業務委託事業

● 給食の民間委託について、コスト削減はどの程度達成しているか。

【学校環境整備課長】

同規模の学校と比較すると委託料と人件費での差額として600万円程度削減できている。

● 民間委託に地元への説明は済んでいるのか。

【学校環境整備課長】 まだ済んでいない。補正予算が可決されれば、業者選定後、予定している。

ピックアップ②

住民票・所得証明書等がコンビニで

★住民票・所得証明書等コンビニ交付システム導入事業

● システム導入後の維持管理費、コンビニへの手数料は、毎年必要となるのか。今後、増減するののか。

【市民年金課長】

維持管理費の負担金及びコンビニへの手数料は、参加団体が増えたこと

とで下がった。今後も参加団体が増えることが見込み。

● 市の人口によって負担金は変わるのか。

【市民年金課長】

本市の住民基本台帳等のデータをコンビニ交付システムに変換するためのものなので、人口には関係ない。



マイナンバーカードでのコンビニ交付 (平成31年度中導入予定)



シェイクアウト訓練のイラスト

**シェイクアウト訓練実施を
答 実施できるよう進めて行く**



河田 美穂 議員
(公明党)

議員13名が一般質問

※一般質問とは議員個人が行財政状況や今後の方針などを市に問うものです。

質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。

録画配信でチェック!

市議会ホームページから、録画をご覧ください。

京田辺市議会 インターネット中継 で検索



〇 職員の人材育成を充実すべき。

〔市長〕 私の考えを直接伝えることで意識改革を促してきた。今後もしっかりと先頭に立ち、人材育成に努める。

〇 いつでもどこでも全員が参加できる「シェイクアウト訓練」を実施すべき。

〔危機管理監〕 まずは平成31年の避難所運営訓練でぜひ実施できるように進めていきたい。

〇 ペットとの避難訓練もすべき。

〔危機管理監〕 各避難所の運営協議会の中で議論していく。

〇 避難訓練に参加している子どもたちへの対応を考えるべき。

〔危機管理監〕 訓練の中で、子どもたちどのような役割や作業を担ってもらうかなどは検討しているところ。

〔健康福祉部長〕 現在のところ、今後の定期接種のあり方について国の方向性が示されていないことから、国の動向を注視し、判断したい。どういつ形を進めていくのか、現在検討しているところ。

は検討すべき課題。

〇 災害時の備蓄品に「国産の液体ミルク」を加えるよう今から検討していくべき。

〔危機管理監〕 今後、国産の液体ミルクが流通することが見込まれる。その動向を見極めながら検討する。

〇 国の高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種助成制度は31年度から65歳の方のみとなる。市民の70歳以上が受けられる市独自の助成制度は継続すべきである。



水辺の散策路
(普賢寺川)

**「ゲーム障害」対策を
答 重点的な指導が必要**



喜多 和彦 議員
(一新会)

〇 本市には、市民が満足する豊かな自然がある。景観の保全状況は、また自然を生かし市民のゆるやかな繋がりを創出できないか。

〔市長〕 豊かな自然と都市のバランスを大切にしながら、さまざまな施策に取組んでいる。市民と企業が一体となった活動や市民と行政の協働によるボランティア活動などを支援し、市民の里山への関心を高め、活動の輪を広げることが、景観保全に大きな効果をもたらすと考えている。平成30年度は、虚空蔵谷川沿いに水辺の散策路2コースを整備する。この散策路が市民の交流や健康づくりの場として活用されることを期待している。

〇 「ゲーム障害」が人格を破壊する恐れのある病気として認定される。スマートフォンの機能に含まれるネットゲームがその原因となりうるが、市の対応は。

〔教育部長〕 「ゲーム障害」は重点的な指導が必要な課題と考えている。専門家による講演など外部の力も借りながら子どもたちに危険性を知らしていく。またスマートフォンの使い方については、家庭の協力が欠かせない。保護者に対してもお願いや啓発を行っている。

〇 大住工業専用地域の拡大事業の進捗状況は。

〔市長〕 31年度中の土地区画整理組合の設立認可を目指している。早期の組合設立に向けて物心両面からの支援を行っている。



田辺中央交差点

**災害発生時訪問介護は困難
答 事業所が対応を決めるべき**



南部 登志子 議員
(無会派)

〇 災害に強いまちづくり。

①大雨時、川沿いにある普賢寺児童館を避難所とすることは非現実的。見直しを。また近隣市町の避難所の方が近い場合は、そちらへ避難できるように連携を。④在宅避難者対策を。⑤災害発生時の居宅訪問介護は危険を伴う。市は事業所に対して指針を示すべき。

⑥災害発生時の外国人への情報提供は必須。早急に対策を。

〔危機管理監〕 ⑦中山間地域は自主避難できる市の施設の確保が困難。地区公民館を活用している。また、近隣市町とは協定で避難者を受け入れていたことになっている。

⑧生活情報についての支援や医療体制の確保などは今後の検討課題。⑨他市町村の事例を参考に研究していく。

〔健康福祉部長〕 ⑩事業所が対応を決めるべき。今後の課題については、災害時の研修を受けてもらう段階。

〇 新田辺駅西側の交通問題。②西住宅、北田辺地区の通学安全対策とゾーン30の設定を。④田辺中央病院の来院者駐車場が住宅地の中に移る一層の安全対策を。⑤中央交差点に右折信号の設置を。

〔建設部長〕 ⑦地元自治会、田辺署とともに検討する。①地元自治会、事業者とともに行政がやるべきことも含めて協議をする。②田辺中央交差点には近い距離に信号が4機あり、一体制御されている。そのため、右折矢印信号を追加すると、直進青信号の点灯時間が短くなり、かえって交通渋滞を招くため設置は困難。

用語の解説

ゲーム障害
(3面右5・6段目)
オンラインゲームなどへの過度な依存により日常生活に支障をきたす疾病。世界保健機関(WHO)は平成30年に公表予定の国際疾病分類に新たな疾病として盛り込む方針を示している。

SDGs(エフデジーズ)
(4面右3段目)
平成27年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のこと。国連加盟の193カ国が28年からの15年間で達成するための17の大きな目標と169のターゲットで構成される。

障害者雇用率
(5面右7段目)
身体障害者及び知的障害者について、一般労働者と同じ水準において常用労働者となり得る機会を与えるために設定される割合のこと。



第3次京田辺市総合計画書

第4次総合計画の策定は 答 市の今後を見据えた計画に

小林 喜代司 議員
(みらい京田辺)

田 まちづくりの最上位の計画となる総合計画は現在第4次計画の策定が進められている。本市の目指す都市像や人口フレームなどを、どの様に考えているのか。また策定にあたっては市民の声を計画に反映する事が大切であり一緒に取り組む姿勢が重要であると思うが市の考えは。

田 昭和59年に策定した田辺町総合計画以来、ぶれる事なく自然と調和の取れたまちづくりを進めてきた結果、今なお人口が増加するまちとして順調に発展して来ている。魅力ある京田辺を築くためには、まちづくりの羅針盤となる総合計画が必要であり、総合計画条例を新たに定め第4次総合計画の策定を進めている。総合計画では、これまで

京田辺PAで特産品販売を 答 一時的な利用で準備進める

櫻井 立志 議員
(公明党)



第二京阪道路内の京田辺PA

田 国連が掲げるSDGsの理念を、本市の「第4次総合計画」策定のなかに盛り込む考えは。

田 SDGsが平成30年度に半減を目標とした食品ロスに本市も取り組む考えは。

田 健康福祉部長 府で進めるさよふとフードセンターの活動に、本市としても案内や協力をやっていきたい。

田 経済環境部長 大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から、食品ロスの削減に向け、広報等で啓発を図りたい。

田 教育指導監 学校給食に関して、食べ残しの無いように

食品ロスの説明や指導を行っている。調理においても残菜が出ないよう、必要な量だけ計算して仕入れている。

田 観光施策として、第二京阪道路の京田辺PA内で特産物の販売など、本市をアピールする考えは。

田 経済環境部長 関係機関と交渉の結果、一時的な利用について許可される見込みが出たので、現在観光PRや特産品の販売の準備を進めている。

田 通学路のブロック塀の安全点検を実施したと聞く。その結果と対策は。また民地のブロック塀の点検結果は。

田 教育部長 構造基準を満たす3小学校のブロック塀であるが、撤去しフェンスに置き換える。民地のブロック塀の危険箇所は無かった。

公民館で行われているサークルの様子
(大住ヶ丘第1公民館)

認知症対策に抜本的支援を 答 認知症施策の充実を図る

横山 栄二 議員
(共産党)

田 いまや認知症の高齢者は462万人とされ、軽度認知障害のある人も400万人いると推計されている。高齢者の3〜4人に1人は認知症か、軽度認知障害である。現在の介護保険では利用できるサービスに限度があり、認知症の世話にもっぱら家族任せという高齢者が膨大な数に上がっている。高齢化が進む中で認知症も増えている。大牟田市の経験など先進地に学んで認知症対策に抜本的支援をしてほしい。市の対策は。

田 健康福祉部長 「認知症サポーター養成講座」の継続実施や「介護予防教室」の普及を行う中で、認知症への市民の理解が広がってきている。「認知症初期集中支援事業」によい、認知症の方に対する

田 適切な医療や介護等の提供や介護者への支援や地域で見守る体制づくりなど、認知症施策の充実を図ることで成果も上がっている。今後も京田辺市に適した形で、施策を推進する。

田 地球温暖化に伴い酷暑日が続く。子どもの安全面からも、また災害時には避難所の役割を担う意味からも、小中学校の体育館にエアコンの設置を求める。

田 教育部長 体育館の空調設備については、高温時に各学校においてカリキュラムの変更等、弾力的な運営により適切に対応している。避難所の設置の関係は、有利な制度があるか、改めて防災担当とも協議をさせてもらう。

中学給食検討委議論公表を 答 行政課題整理で公表しない

青木 綱次郎 議員
(共産党)



平成30年7月6日午後4時頃の防賀川

田 中学校給食庁内検討委員会について⑦同委員会の議論内容等の公表を。④学校教育、食育の観点を最も重視すべきで学校栄養士等の参加や、意見の反映を。②保護者の要望、意見を取り入れるべき。①委員会の現在の状況と今後の検討スケジュールは。

田 教育部長 庁内検討委員会は基本的な構想の策定に向け行政課題等の整理を行っており今年度中にまとめていきたい。検討経過や議事録の内容の公表、学校関係者や保護者の参加は考えていない。庁内検討委員会ではいろいろな方式を検討する中で、その優勢について一定の評価はしていく。検討委員会が報告をまとめた上で有識者等の意見も聞いていく。

田 7月豪雨では大住西八地域の北側を流れる防賀川で水位が上昇し、川岸すれすれまで増水し、近くの道路の一部や田んぼが冠水した。虚空蔵谷川との合流部から神矢樋門までの間について、早急に改修するよう、府に強く要望すべき。

田 建設部長 防賀川は府が順次改修している。治水上重要と認識しており、事あるごとに府へ要望している。

田 国保特定健診や各種検診で、市外の医療機関でも受診できるように改善を。

田 健康福祉部長 がん検診等は市外医療機関でも可能。国保特定健診は、健康な時から地域で相談できる医療機関を持つことは重要で、現在の方法を継続していく。



感震ブレーカー(分電盤タイプ)

感震ブレーカー設置助成を 答 助成制度について研究する



岡本 亮一 議員
(共産党)

岡 一定以上の地震による揺れを感じると、分電盤の電気を自動的に遮断する感震ブレーカーの購入および、設置費用の一部を助成する「感震ブレーカー設置助成制度」の実施を求める。

(消防長) 国や業界の動向を見ながら、今後の広報のあり方や助成制度について、研究したいと考えている。

岡 市内の住環境の改善と、大きな経済波及効果がある「住リフォーム助成制度」の実施を求める。

(経済環境部長) 現在、住宅改修に関しては、福祉分野でのバリアフリー改修、木造住宅の耐震化工事、住宅用蓄電池システム、燃料電池の設置に対して補助を行っている。これらの制度を利用すること

により、個々の課題に適切な住環境の改善が図られるとともに、中小企業の振興や地域経済の活性化にもつながっていることから、現在の状態で十分である。

岡 店舗の改装および、店舗で使用する備品の購入に対し、その費用の一部を助成する「商店リニューアル助成制度」の実施を求める。

(経済環境部長) 本市では、高齢者や障がいのある方などの社会参加を支援することにも、市内業者の事業活動を促進することを目指す。トイレの洋式化などのバリアフリー改修工事に対する補助制度を実施しており、新たな「店舗リニューアル助成制度」を実施する考えはない。



消防署北部分署

南部住民センターと消防署 答 遅いと言われれば遅い



上田 毅 議員
(一新会)

岡 南部地域の方々より南部住民センターおよび南部消防署の建設を望む声がある。必要な物を必要な時期に計画する事が大事である。前市長・元町長のお二人が、地域住民が望まれたことを理解され、首長としての役務を果たしてきた。石井市長は3期務め首長として、どんな形のものを残して頂けるのか。南部住民センターおよび南部消防署建設基金として、毎年1億円ずつ計上していれば12億円の基金にもなった。今からでも遅くはないのでは。

(市長) これからの整備計画の策定は、遅いと言われれば遅いし、早いと言われれば早いかもわからない。

岡 以前、市長は必要であると認識している等々の答弁

内部的な議論として平成12年と15年に20年度までをめどに整備する施設として位置づけると言った。南部住民センター検討委員会の設置を。

(市長) 地元区と機能等を確保するという話をしている。

岡 生駒井手線における打田および高船地域入口の遮断機について。異常気象が続く中、打田区は避難時に普賢寺小学校に避難して下さいと伝達されているが遮断機が降り避難できなかった。遮断機が降りていなかったとしても、普賢寺川が溢れ、土砂崩れの危険性もあり避難経路・避難場所として相応しくない。

(危機管理課) 普賢寺川の浸水想定の中で変化があれば、変更ということも今後検討していく段階になつたかと思う。



ごみの持ち去り禁止の看板

ごみ持ち去り問題は 答 罰則含む条例を検討



鈴木 康夫 議員
(一新会)

岡 近隣では、枚方市に続き城陽市で罰金を含むごみ持ち去り禁止の条例が施行されようとしている。違反業者の本市への増加が予想される。資源の流出はもとより、違反業者車両による事故など現場におけるトラブルが心配だ。

(経済環境部長) 市民から出される再生資源(みは、市の貴重な収入源となる)ことから条例で持ち去りを禁止している。対策として職員によるパトロール、警告看板の設置や防止ステッカーの配布を行っている。今後は罰則を盛り込んだ条例整備の検討をする。

岡 駅ナカ案内所での図書返却は、利便性が向上する。しかし、開設時間は9時から17時と、通勤される市民にとって利用は困難である。常設

の返却ポストの設置を望む。

(教育部長) 常設の返却ポストは、設置場所や建物の改修が課題である。当面は駅ナカ案内所での返却窓口サービスを提供していく。

岡 平成30年11月に万博開催地が正式決定される。候補地である大阪夢洲には、2025年、数十万人の来場者が予想され、近接には恒久的な集客施設が、国、大阪市により計画されている。交通便利性に富む本市は、これをチャンスととらえ戦略的観光施策構築を期待する。

(経済環境部長) 府や近隣市町村、お茶の京都DMOなど関係団体とネットワーク化を図り、広域連携の強みを生かし、周遊、滞在型観光を促進する取り組みを進める。



登校時の中学生
(増良中学校)

就学援助の入学準備金は 答 3月上旬支給を予定



増富 理津子 議員
(共産党)

岡 中央省庁での障害者雇用率水増し偽装が明らかになったが、市長の見解は。また、本市における障害者雇用の実態と課題、対策は。

(市長) 当然ルールのごとくやるべきだと思うている。

(総務部長) 本市では障害者手帳の保有職員のみ雇用率に算定。平成29年度3名が退職し、待機児童解消のため保育士採用を優先させ基準を下回った。9月に障がい者を対象とした職員採用試験を行う予定。

岡 就学援助制度において10月からの生活保護基準の引き下げによる影響は。また31年度の入学準備金支給の具体的なスケジュールは。

(教育部長) 準要保護者に対する就学援助については、影響が出ないよう従来どおり対応

応していく。また入学準備金支給は31年3月上旬を予定。

岡 各所で犬や猫のフン尿問題、エサのやり方等をめぐるトラブルが多発している。市民参加でペット条例制定等市民共通のルールづくりを視野に入れた対策を。

(経済環境部長) 毎年約50件の要望がある。市、府条例に基づいて指導や啓発を実施。

岡 歩道整備については田辺高校から中部住民センターまでの歩道整備を。④新田辺東住宅内のかまぼこ道路路の改善計画を。

(建設部長) ②の早急な改善は困難な状況。④引き続き道路の沈下状況の計測が必要。

ごみ焼却場
(甘南備園)

基本構想と異なる負担では
答 市が主体的に使うもの

西畑 利彦 議員
(共産党)



北陸新幹線

新幹線より路線バス充実を
答 新幹線による発展に期待

次田 典子 議員
(無会派)

〔理事〕 北陸新幹線がJR松井山手駅に来ることが決まった。平成28年3月の市の第3次総合計画には一切書かれていない。策定1年後に降って湧いたような決定だ。リニア時代にこたえレベルしか停まらない駅が、例えば30年度40億円の赤字を生んだ富山県高岡市のようにコミュニティバスや移動図書館の廃止や市民会館の休館などのような市民サービスの低下を招くのではない。東京方面は京都から。在来線利用で新大阪から西へも便利に行けるようになるのか。どれだけの人が利用するのか。京田辺でも多くの市民は未来の新幹線より明日の路線バスの充実を望んでいる。このような大きな事業は住民投票をして市民の意志を問うべきだ。

〔経済環境部長〕 当該施設の進入路だけでなく、市が計画する防災広場への進入路でもある。道路は本市が主体的に使うもの。

〔建設部長〕 基本構想時点では防災広場の計画はない。建物を造るには造成・道路や交差点改良は最低限必要なもの。事業費も示していない。内容を整理し、市民に説明すべき。

〔環境部長〕 事業費は、平成30年度内にまとめる。

〔教育長〕 必要は授業時間数は確保された。各学校には日よけの設備がある。

〔理事〕 新幹線の受け入れは市単独では決められない。

〔理事〕 私は8月に文科省を訪問し、夜間中学校設置は都道府県1校に1校をめぐり各政令指定都市と都道府県にレベルアップすべきだと要望した。山城地域でわかつていただけで未就学者が780人だが、不登校、形式卒業者を含めるともっと多い。ニーズ調査に對し市の現状を府にも伝え早く設置できるようにすべきだ。

〔教育長〕 府教委に協力する。

〔理事〕 7月愛知県で小学1年生が熱中症で死亡した。8月新幼稚園では水筒も持たせずに炎天下を歩かせる行事を実施した。夏休みの登校、登園も見直すべきだ。

〔教育部長〕 各校園長に改めて指導していきたい。

要した。不要不急の行動について教訓を得た。また、倉敷市真備町が本市と地形が似ていることも教訓すべき。

〔危機管理監〕 指摘のとおり、企業にも話を。まずは自分の命は自分で守るという意識を高める。

〔理事〕 田辺中央北側の整備は倉敷市の教訓を学び、新田辺東・西住宅の避難場所も考慮した盛土構造とすべき。組合運営で支障があるのか。

〔建設部長〕 コストがかかり土地利用がしにくいなどの問題がある。

〔理事〕 30年は小学校でのプール利用が暑さから短くなった日よけなど設けられないか。

〔教育部長〕 必要は授業時間数は確保された。各学校には日よけの設備がある。

決算特別委員会設置

定例会最終日には、平成29年度一般会計のほか、7つの特別会計と水道事業会計の歳入歳出決算認定案、計9件が市長から追加提案されました。市議会は、7人の委員で構成する「決算特別委員会」を設置し、決算認定案9件を付託した上で閉会中に審査することとしました。

また、同特別委員会は正副委員長互選を行い、委員長及び副委員長を選出した上で、審査日程を10月4日、17日、22日、25日、31日の5日間とすることに決定しました。

なお、各決算認定案に沿って、29年度に実施された各種事業の検証と予算の執行について審査を行い、12月定例会の本会議において、委員長から審査結果が報告され、全議員による採決を行う予定です。

じん芥収集車



高規格救急自動車



普賢寺ふれあいの駅トイレ等施設整備



『決算特別委員会の構成』

委員長：市田 博 (一新会)
副委員長：岡本 亮一 (日本共産党京田辺市議会議員団)
委員：上田 毅 (一新会)
河田 美穂 (公明党)
西畑 利彦 (日本共産党京田辺市議会議員団)
松村 博司 (一新会)
米澤 修司 (みらい京田辺)

市営住宅長寿命化事業



水辺の散策路整備



高機能消防指令システム



議 会 日 誌		【8月】		1日	広報編集特別委員会 文教福祉常任委員会管外研修（9日）
		【9月】		3日	第3回定例会（開会・議案上程） 第3回定例会（一般質問）（7日、10日） 建設経済常任委員会・協議会 総務常任委員会・協議会 文教福祉常任委員会 議会運営委員会（26日）・幹事会 第3回定例会（議案採決・閉会） 広報編集特別委員会
		【10月】		4日	決算特別委員会（17日、22日、25日、31日） 議会運営委員会 広報編集特別委員会（15日、24日） 全国都市問題会議（12日） 茨城県土浦市議会視察来庁 平成30年度一期目議員研修会 京都人権文化講座 近畿市議会議長会
				15日	
				19日	

議員研修会を開催

京田辺市議会は、平成30年7月17日に立命館大学名誉教授の土居靖範氏を講師としてお招きし、「公共交通の整備は京田辺市政の土台」をテーマに議員研修会を実施しました。全国的な鉄道やバスの廃止・



縮小、また高齢化による運転免許証の返納などで買い物・通院難民が大量発生する問題や自治体が公共交通を整備改善した例などを示し、本市における公共交通のあり方への助言をしていただきました。

文教福祉常任委員会管外視察報告

8月8日に福岡県大牟田市で、翌9日に岡山県岡山市及び岡山県玉野市で管外視察研修を実施しました。

大牟田市では、地域や学校などで認知症について積極的に取組んでいる「認知症ケアコミュニティ推進事業」について、岡山市では、全市立学校に学校司書を配置し読書活動を支援している「学校図書館教育」について、玉野市では、放課後に小学生の自然体験・伝統文化継承活動などや学習支援を行う「玉野市地域子ども楽級（がっきゅう）」について、それぞれ研修しました。



建設経済常任委員会管外視察報告

7月11日から13日の3日間、東京都墨田区、埼玉県鴻巣市及び群馬県高崎市において視察研修を実施しました。

墨田区では「中小企業活性化」について研修しました。



鴻巣市では、「観光イベントの活用・PR、市のブランド化、フィルムコミッション事業」について研修しました。

高崎市では、「中心市街地の回遊性向上と賑わい創出」、「まちなか商店リニューアル助成事業」について研修しました。

議会を傍聴するには



市役所正面玄関に入って



斜め右のエレベーターで5階へ



議会事務局窓口で傍聴手続を



奥へ進み扉を開けると

申込用紙に氏名・住所を記入します。
傍聴席は6階、委員会室はすぐ横です。
車椅子で傍聴される方は、5階にも傍聴席がありますのでご案内します。
お帰りの際はアンケートにご協力を

傍聴席



身障者入口



通路



身障者傍聴席

可決した意見書(要約)

主要農作物種子法復活に関する意見書

昨年3月の通常国会で廃止となった主要農作物種子法（以下、種子法という）は、敗戦後の日本が主権を取り戻した1952年（昭和27年）に誕生している。

その国民の命と密接不可分の種子法が突然廃止されたのは、内閣府の設置した規制改革推進会議が「種子・種苗については、国は、国家戦略・知財戦略として、民間活力を最大限に活用した開発・供給体制を構築する」という理由で廃止方針を打ち出したからである。

また、「農業競争力強化支援法」では、「独立行政法人の試験研究機関及び都道府県が有する種苗の生産に関する知見の民間事業者への提供の促進」が義務付けられており、多国籍種苗会社に、公的機関の知見を提供すれば、それが海外に流出するのは当然である。

ところが、種子法廃止と同時に、種苗会社が独占的に種苗を利用できる権利「育成者権」を保護するため、自家増殖（採種）を、原則禁止の方向で省令の大幅見直しが行われている。

農家にとって、種子代の高騰や生産者が特許料の支払いを強要される事態、海外の種苗大手への知見流出などの懸念も拭えない。また外資系メーカーの参入により遺伝子組み換え品種が生み出されるなど、消費者にとっても影響が大きい。

よって、国においては、種子法に関して、下記の事項を強く求める。
記

- 1 次期国会で、主要農作物種子法復活法案をすみやかに成立させること。
- 2 国益に反する恐れのある、「農業競争力強化支援法」の第8条第4号を削除すること。

※本会議に提案された意見書の全文は、ホームページに掲載しています

9月定例会の議決結果

★全議員が賛成して可決等したもの

議案番号	議案名
同意第9号	自治功労者の推薦について
議案第43号	財産取得について
議案第45号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

★議員ごとに賛成と反対が分かれたもの

議案番号	議案名	結果	一新会							日本共産党京田辺市議会議員団			みらい京田辺		公明党		会派に属しない議員			
			奥西伊佐男	市田博	上田毅	岡本茂樹	喜多和彦	鈴木康夫	松村博司	青木綱次郎	岡本亮一	西畑利彦	増富理津子	横山榮二	河本隆志	小林喜代司	米澤修司	河田美穂	櫻井立志	次田典子
議案第41号	税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○
議案第44号	平成30年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×
意見書第5号	高齢者が安心して暮らせる介護保険に向けての意見書	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×
意見書第6号	主要農作物種子法復活に関する意見書	可決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

※ 賛成の場合「○」、反対の場合「×」で表しています。



本会議や委員会を傍聴しませんか

市役所へおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。
本会議は、インターネットでもご覧いただけます。
京田辺市議会 インターネット中継 で検索！

☆お知らせ☆

次号(2月1日発行予定)では、平成29年度の決算審査を特集しますのでぜひ、ご覧ください。

12月定例会の予定

日 程	会議内容
12月 3日(月) 13時30分～	本会議(開会・議案上程等)
12月 6日(木) 10時00分～	本 会 議 (一 般 質 問)
12月 7日(金) 10時00分～	本 会 議 (一 般 質 問)
12月10日(月) 10時00分～	本 会 議 (一 般 質 問)
12月13日(木) 10時00分～	総 務 常 任 委 員 会
12月14日(金) 10時00分～	文 教 福 祉 常 任 委 員 会
12月17日(月) 10時00分～	建 設 経 済 常 任 委 員 会
12月26日(金) 13時30分～	本 会 議 (閉 会 ・ 採 決 等)

議会運営委員会

11月20日(火)、29日(木)、12月19日(水)、21日(金)
いずれも13時30分～※ 会議の開催日や開催時間などは、変更する場合があります。
※ 常任委員会では、開会後に休憩して現地調査を行う場合があります。

ご意見・ご感想をお待ちしております

市議会だよりに対するご意見、ご感想をお寄せください。
(電話) 64-1380 (FAX) 63-4782
(メールアドレス) gikai@city.kyotanabe.lg.jp

第9回
あなたと話したい

京田辺市議会だよりの音訳「声の議会だより」を作成していただき、今回で100号をむかえます。日頃の感謝をこめて取材してきました。

Q ボランティア活動はいつから？

・約30年まえの平成元年ごろから活動しています。

Q 声の議会だよりの作成において心がけていることは？

・聞きやすく、情報を正確に伝えられるようにしています。

Q ボランティア活動をしてきて、感じる・思うことは？

・聞いてもらって楽しんでいただいている。喜んでもらえている。
・普段あえない人に会える喜びがある。
・逆にボランティアされているような気になることがある。



Q 本市のボランティア団体への施策に対して思うことは？

・高齢者世帯が多い地域でも利用されている方が少ないので活動のPRなどをしてほしい。
・ニュースセンター、おしゃべり訪問というコンテンツを制作しており、図書館で利用できるようにしてほしい。

Q 今後の活動目標は？

・若い人に活動に参加してもらえるよう呼びかけたい。
・もっと研修などをして、もっと朗読がうまくなるよう努力したい。



Q 市議会に期待することは？

・活動拠点の社会福祉センターの場所を駅の近くなど、交通の便のよいところに移転させるよう提案してほしい。
・バスで社会福祉センターへ来られる方が多いので交通渋滞で遅れないように対策を提案してほしい。



ボランティアグループ「せせらぎ」

高齢者の方や視覚障がい者の方を対象に、音訳CDの制作や広報・議会報の音訳のほか、施設訪問の司会や本のレコーディングなどにも取り組んでおられる「せせらぎ」にお話を伺いました。

あとがき

私たち広報委員会では読んでいただける「議会だより」を目指し、他市町へ視察研修をはじめ議会だよりのクリニックにも全員で参加して協議を重ねてきました。

学んできた事を生かし字数を減らし、写真・イラストを多くし、インタビュー記事など市民の声を出来るだけ掲載し、少しでも興味を持っていただけるように改善に取り組んでいます。是非一読いただければ幸いです。

広報編集特別委員会
(河田)委員長 小林喜代司
副委員長 河田美穂
委員 喜多和彦
委員 西畑利彦